



ニュース

第15号

2010年6月25日発行

トップス広島 事務局

〒733-0036

広島市西区観音新町4-10-2

広島西飛行場ターミナルビル1F

TEL; 082-233-3233 FAX; 082-233-3251

URL; www.tops-h.net

加盟団体

- ・ NTT西日本広島
- ・ サンフレッチェ広島
- ・ JTサンダース
- ・ 湧永製菓
- ・ 広島メイプルレッズ
- ・ 広島ガスバドミントン部
- ・ 広島東洋カープ
- ・ ソフトテニスクラブ
- ・ 中国電力陸上競技部
- ・ コカ・コーラウエスト
- ・ 広島県バドミントン協会

《セパ交流戦 順位表》

	試	勝	敗	分	率
①オリックス	24	16	8	0	0.667
②西武	24	14	10	0	0.583
③ソフトバンク	24	13	10	1	0.565
④ロッテ	24	13	10	1	0.565
⑤楽天	24	13	10	1	0.565
⑥日本ハム	24	12	11	1	0.522
⑦巨人	24	12	12	0	0.500
⑧阪神	24	11	12	1	0.478
⑨中日	24	11	13	0	0.458
⑩広島	24	10	12	2	0.455
⑪ヤクルト	24	9	14	1	0.391
⑫横浜	24	6	18	0	0.250

プロ野球セパ交流戦は16日、オリックスの初優勝で全日程を終了した。大野監督で臨んだ広島は終盤3連勝と気を吐いたが、10勝12敗2分けで10位だった。

パ・リーグ勢は交流戦が始まった2005年からの連覇を「6」と伸ばし、上位6位までを初めて独占した。セ・リーグとの対抗成績は81勝59敗4分け、過去最多の勝ち越しとなった。

最優秀選手には勝負強い打撃でオリックスの貢献したT-岡田が選ばれた。優秀選手には10本塁打を放った阿部(巨人)と12球団トップの5勝を挙げた和田(ソフトバンク)が選出された。

カープでは前田健が防御率1.05(5試合3勝)で投手成績1位となり、打撃では広瀬が打率3割5分1厘で11位に入った。



セパ交流戦は10位

広ガス 5位に終わる



《全日本実業団 成績》

▽1回戦

○3-1山陰合銀

早川・橋本2-0吉岡・山本
小池・井上2-0丸岡・新藤
後藤 藤0-2山本
本 山2-1新藤

▽準々決勝

●2-3ヨネックス

早川・橋本1-2今別府・作山
小池・井上2-0横関・阿萬
橋本0-2亀谷
武田2-1作山
本山1-2柏原

バドミントンの全日本実業団選手権は9日から5日間、神戸市立中央体育館などで開かれ、7年連続4強入りを目指した広島ガスは準々決勝で日本リーグ1部のヨネックス(東京)に敗れ、5位に終わった。

決勝トーナメントから登場した広島ガスは1回戦で中国実業団で敗れている山陰合銀(島根)を3-1で下した。しかし準々決勝でヨネックスと最終ゲームまでもつれ込んだが、涙を飲んだ。

全日本実業団選手権

7年連続4強入り逃がす

ホッケーの日本リーグ女子は第3節を終わり、コカ・コーラウエストは5、6日に地元で行われた2試合で連勝、3勝2分け1敗と白星が先行、3位につけている。

開幕戦を大勝したあと天理大に引き分け、東海学院大にはまさかの黒星を喫したが、4連勝を狙うソニーHCに引き分けて自信がよみがえってきた。

地元での南都銀行、立命大は、どれだけ自分たちの戦い

が出来るかだったが、2試合とも無失点に抑えたことは今後に光が差し込んだ。波をなくして初優勝へ突き進んでもらいたい。



地元で連勝3位

《コカ・コーラウエスト 成績》

※第3節

○3(1-0、3-0)0南都銀行
○4(4-0、0-0)0立命大

《日本ホッケーリーグ 順位表》

	試	勝	分	敗	勝点
①ソニーHC	6	5	1	0	16
②山梨学院	6	4	0	2	12
③コカ・コーラウエスト	6	3	2	1	11
④天理大	6	3	2	1	11
⑤南都銀行	6	3	1	2	10
⑥東海学院大	6	3	0	3	9
⑦ガクアスライオン	6	0	0	6	0
⑧立命大	6	0	0	6	0

(注)3、4位と7、8位は得失点差による

V4へチャレンジ



2010Vサマーリーグは7月開幕。まず1次リーグが行われる。

男子には9チームが参加。2組に分かれ総当たりリーグを戦い、各組上位2位までが9月に愛知県春日井市総合体育館での決勝リーグに出場する。

JTは昨年まで3年連続優勝を飾っており、久保新体制

《サマーリーグ JT日程》

- ※1次リーグ
- ▽17日 東京トヨペット
- ▽18日 警視庁
- ▽19日 大同特殊鋼
- 富士通

として初のタイトルを狙う。

先の黒鷲旗で準優勝だったJTだが、ゴメスを軸にした攻撃力は健在。プレミアリーグへ向けここで波に乗りたい。

来月Vサマーリーグ

中国社会人選手権

ニッポーに圧勝

ホッケーの中国社会人選手権は19、20日、島根県奥出雲町の三成公園ホッケー場で行われ、コカ・コーラウエストはニッポークラブ(島根)と優勝決定戦を行い、7-0で快勝した。

前回に続き同じ顔合わせとなったが、コカ・コーラウエストは余裕ある戦いを進め、ニッポークラブを圧倒した。

ジャパンカップ

ハンドボールのジャパンカップは4日から3日間、東京体育館で行われた。男子は日本のほか韓国、ネバ（ロシア）女子は日本、韓国、中国の各代表とロシアのクラブチーム、ディナモが参加、総当たりリーグで戦った。

広島勢は男子が湧永製薬の東長濱秀作、女子がメイブルレッズの植垣暁恵、新城明奈の3人が日本代表に選出された。

また男子コーチに前湧永製薬監督の中山剛さん、女子コーチに元メイブルレッズコーチの栗山雅倫さん、元湧永製薬で主将を務めた小藪憲次さんが加わった。

東長濱が初戦で6得点と大暴れたほか、植垣は守りで、新城はサイドプレーヤーとして頑張りを見せた。

男女とも優勝は韓国で、日本は2戦2敗の男子が3位（最下位）女子は1勝2敗で3チームが並んだが、当該チーム間の得失点差で2位となった。

湧永・メイブルから3人出場



頑張れ！湧永



安芸高田市でファン交流

頑張れ、湧永製薬一。ハンドボール男子の強豪、湧永製薬を励ます「交流会」が11日、安芸高田市ハンドボール協会の呼びかけで安芸高田市公民館で開かれた。

昨年の湧永製薬は新潟国体で

優勝を飾り、日本リーグなどでも好成績を挙げた。

地元では今シーズンさらに好成績を期待する声が高く、かつて合併前の甲田町で盛んだった「交流会」を復活させた。

会場には山口監督や選手14

人が参加、集まった約100人の市民と交流を深めた。

各選手が一人ひとり抱負を述べるたびに歓声と拍手が沸き起こり期待の大きさを見せた。

今季は7月7日から徳島での全日本実業団選手権で始まる。

《県実業団選手権 成績》

▽5000円	
7位	尾崎 輝人 14分11秒60
11位	梅木 蔵雄 14分21秒80
14位	尾方 剛 14分26秒85
16位	白浜 三徳 14分28秒65
27位	藤原 昌隆 15分04秒47

5000円
最高は尾崎7位

県実業団選手権

陸上の県実業団選手権は5日、庄原市上野総合公園陸上競技場で開かれた。

中国電力勢は5000円に5選手が出場した。

最高成績は尾崎の7位。以下、梅木、尾方、白濱、藤原の順だった。

日本選手権

中国電力
陸上競技部

陸上の日本選手権は4日から3日間、アジア大会（中国・広州）代表選考会を兼ねて香川県立丸亀競技場で行われ、中国電力からは1500円に田子康宏、5000円、10000円に岡本直己が出場した。

期待された10000円の岡本は腹痛のため7400円付近で棄権。5000円は14分07秒14で19位だった。1500円の田子は3分46秒95で6位に入賞した。

1万岡本途中棄権

千五百田子6位



海外遠征に

3人が参加

メイブルレッズの若手が海外遠征メンバーに選ばれた。

27日から8日間、ハンガリーで開かれる世界学生選手権にG K石原直美（大阪教大出）＝写真上、C P早川志保（東女体大出）＝写真中＝の両ルーキーが参加する。

また、22日からトルコで開催されているビーチハンドボール世界選手権には2年目のC P村山絵理奈（早大出）＝写真下＝が出場している。

貴重な体験を積み、今シーズンの活躍に生かすことを期待したい。



《参加選手》

- ▽男子 中堀成生、高川経生、長江光一、原侑輝
- ▽女子 佐々木舞、大庭彩加、塔田光理、山本彩加、榎本有花

◆中国選手権 成績◆

- （23日・宇部市中央公園）
- ▽一般男子 ①中堀・高川②堀・長江▽一般女子 ②佐々木・大庭③塔田・山本

ソフトテニスのチャイニーズカップ国際大会は22日から中国・広州市で開かれており、NTT西日本広島から男子4人、女子5人の合わせて9人が参加している。

今秋、同所でのアジア大会に向けての強化の一環。



9人が参加
国際チャイニーズ杯

J再開へ鍛える

オーストリアで夏季キャンプ

7月14日から再開するJリーグへ向けてサンフレッチェがオーストリアで夏季キャンプを張っている。17日に広島を出発、7月2日に帰国する予定。

現在9位につけているが、再開後の上位進出へ戦力の底上げを図る。

期間中、チェコのオストラバなど欧州勢と4試合の練習試合も予定しており、戦術練習に取り組む。守りや若手の強化がどう進むか楽しみだ。



ロゴマークの意味

広島県の花、広島県の木として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。

ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。